

お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

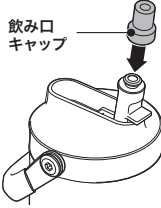
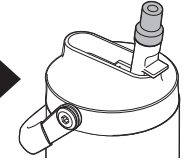
- 本体(外側・内側)**
ぬるま湯で薄めた食器用洗剤を柔らかいスポンジ・フキンに含ませて洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。
- 部品**
飲み口キャップ、せんパッキン、ストローをせんユニットから取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

⚠️ お手入れ上の注意

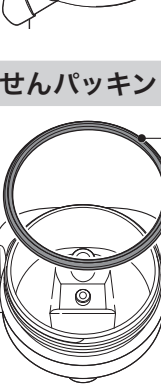

- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、シリコン部品の変色の原因となるおそれがあります。
- 本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズやサビ、破損の原因になります。
- 本体やせんユニットの煮沸、及び食器洗浄機や食器乾燥機などは使用しないでください。
変形や漏れの原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
サビ、破損の原因になります。
- 本体・せんユニットの浸け置き洗いなどはしないでください。
- せんユニットを本体に取り付けたままお手入れしないでください。
お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態で行ってください。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。
- スポーツ飲料を入れた時は、使用後すぐにお手入れをしてください。
においの付着やサビ等の原因になります。

部品の取り付け方

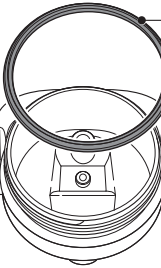
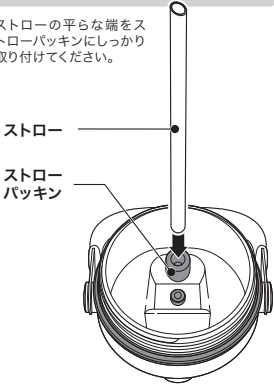
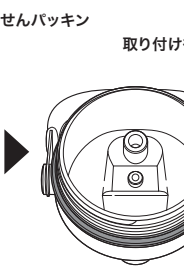
正しく取り付けられていないと、
漏れの原因になります。
お手入れなどで、部品を取りはずした後は、正しく取り付けてください。

飲み口キャップ
**取り付け後**


注意: 飲み口キャップの紛失や誤飲には十分お気をつけください。


ストロー
**ストロー**


ストローの平らな端をストローパッキンにしっかり取り付けてください。

せんパッキン
**取り付け後**


●飲み口キャップ、パッキンやストローは消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用を止め、部品交換してください。

交換部品のご購入はこちらから
アトラスオンラインショップ
<https://www.atlasonline.jp>



赤い斑点・ザラザラが付着した場合

ボトル内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には

- サビのような赤い斑点ができた場合**
水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分程度放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで内びんの内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

- ザラザラしたものが付着した場合**
水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、せんユニットを取り付けず3時間程度放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

製品仕様

材料の種類		実容量	保冷効力
本 体	内びん／ステンレス鋼	0.6L	11℃以下(6時間)
	胴 部／ステンレス鋼	0.9L	11℃以下(6時間)
(ポリエステル樹脂塗装)		*保冷効力とは、室温20℃±2℃において製品に冷水をせんユニットの下端まで入れ、水温が4℃±1℃になったとき、せんユニットをして縦置きにした状態で6時間放置した場合におけるその水の温度です。	
ふ た	ポリプロピレン	*実容量とは、せんユニットまでの全容量です。ご使用の際は取扱説明書をご確認のうえ、適切な量を入れてご使用ください。	
ハ ン ド ル	ポリプロピレン、ステンレス鋼		
飲 み ロ	ポリプロピレン		
飲み口キャップ	シリコーンゴム		
ス ト ロ ー	ポリプロピレン		
パ ッ キ ン	シリコーンゴム		

MADE IN CHINA

表示者 **株式会社アトラス**
〒192-0046 東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F
<https://www.atlas-scm.jp/>

お問い合わせ **TEL.042-660-8870**
受付時間／9:00～18:00
月～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お問い合わせの販売店または上記の
お問い合わせ先までご連絡ください。



スloop

フリップストロー タンブラー

●各部のなまえ



せんユニット

飲み口キャップ

飲み口

ふた

ハンドル

共通取扱説明書

AFSBシリーズ

このたびは、当社のステンレスボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますよう、お願いいたします。
また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったときに役に立ちますので、いつでもみられるところに大切に保管してください。

ご使用前に

- はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、せんユニットのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 底面の製造ロットシールははがさないでください。
- はじめてご使用になるときは、本体内側・せんユニットを食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。

保冷専用

※説明中のイラストは実際のものと異なる場合があります。
また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。



せんパッキン

ストロー

本体

△ ご使用上の注意 保冷専用



警告

- この商品は、保冷専用です。
熱い飲みものは絶対に入れないでください。
内圧が上がり、飲みものの噴出ややけどの原因になります。



注意

- 乳幼児の手の届くところには置かないでください。
- 飲みものの保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。
- 冷たい飲みものを入れて結露する場合は、構造上不具合のある場合がありますので使用しないでください。

- 必ずせんユニットをはずしてから飲みものを入れてください。
せんユニットを付けたまま飲みものを入れると、飲みものが飛散して、ものを汚す原因になります。

- 飲みものの量は、取扱説明書4ページ右下の図を参考にしてください。
入れすぎるとせんユニットが開かなくなったり、閉めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。
また、使用中に漏れ、ものを汚す原因になり危険です。

- 改造・分解・修理は絶対にしないでください。
故障・事故の原因になります。

- シリコン部品が正しく取り付けられていることを確認してご使用ください。(7ページ参照)
飲みものが漏れ、ものを汚す原因になり危険です。
部品の取りはずしの際には紛失及び未装着に注意してください。

- せんユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。
飲みものが溢れ出す原因になります。また、漏れてものを汚す原因になり危険です。

- せんユニットが確実に閉まっていることを確認してください。
閉め方が不十分ですと、傾けた場合飲みものが漏れ、ものを汚す原因になり危険です。

- ストローやコンロなど火気のそばに近づけないでください。
やけどや製品の変形や変色の原因になります。

- 電子レンジで加熱しないでください。
火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。

- 冷凍庫には入れないでください。

- 飲み終わったら、本体を立て、飲み口を確実に収納してください。
本体を傾けたりして飲みものが漏れないことを確認してください。

- 製品の構造上、湿度が高いときにせんユニットに水滴がつく場合があります。
ご注意ください。

- 飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。

- 次のものは絶対に入れないでください。

- アルコール類
- ドライアイス・炭酸飲料水
内圧が上がり、せんユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。
- 牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、せんユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。
- お茶の葉・果肉
すきまなどにつまり、漏れてものを汚す原因になります。

- においの強いものを入れると、本体や部品においが残る場合がありますが、品質上問題はありません。
6ページの「お手入れ方法」に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

- 飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、せんユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。

- お茶などは早めにお飲みください。
長時間保存するとお茶の色や味が変わります。

- 落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。
変形や割れ、保冷不良の原因になります。また、せんユニットの破損の原因になります。

- 改造・修理・分解は絶対にしないでください。
破損、事故の原因となり危険です。

- パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損の原因になるおそれがあります。

- 持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。
 - 持ち運ぶ際は、せんユニットをきちんと閉め、ふた部分を持って運ばないでください。
 - ハンドルは中央部分を持って運んでください。中央部分以外を持つとハンドルがはずれてケガの原因になります。

- 運転中は危険ですので使用しないでください。
車内や衣服を汚したり、ものを汚す原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。

- 本体やハンドルを持って振り回すのはやめてください。
破損、事故の原因になり危険です。

- 使用により本体の塗装は徐々に劣化するおそれがあります。

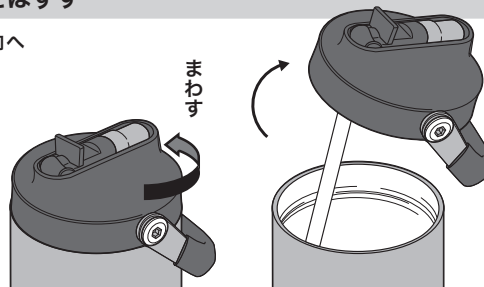
ご使用方法

ご使用の前に

- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。
不具合があった場合、修理・分解はせずにご使用をおやめください。

1 せんユニットをはずす

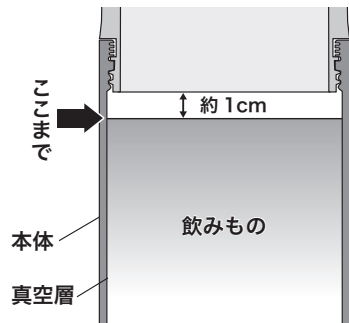
せんユニットを矢印の方向へまわしてはずす。



2 飲みものを入れる

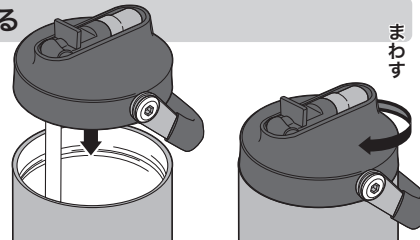
飲みものの量は、右図の → 部までにしてください。入れすぎるとせんユニットを閉めたときに中身が溢れる場合があります。
入れすぎた場合は、減らしてから、せんユニットを閉めてください。

*あらかじめ、本体に少量の冷水を入れ、1分程度置き、予冷してから入れ替えると保冷に効果的です。



3 せんユニットを閉める

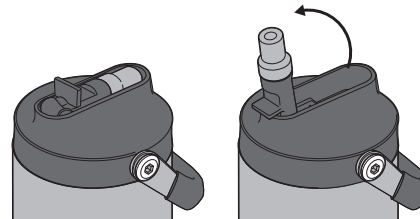
せんユニットを矢印の方向へまわして閉める。



*ストローを確実に取り付けてからせんユニットを閉めてください。

4 飲みものを飲む

本体を立てて飲み口を矢印の方向へ上げて、飲みものを飲んでください。



*飲み口に残っていた水滴が飛散することがありますので、ご注意ください。

5 飲み終わったら

本体を立てて飲み口を矢印の方向へ倒すとロックされます。本体を傾けて漏れのないことを確認してください。

